第１学年　道徳指導案

１　題　材　　みんななかよし

２　題材の目標　　　相手の気持ちを考え、行動する心を育てる

３　子どもと題材をつなぐ構想

(１)子どもの実態

　本学級の児童は、休み時間になると、「けいどろやる人集まって！」「入れて、入れて」と、みんなで声を掛け合って外遊びをしている。にこにこ顔で、出かけていくのだが、チャイムが鳴り、教室に戻ってくると、「先生、あのね・・・だれだれが」と、遊びの中でのトラブルを訴えることもたびたびある。まだまだ遊びの中で、自己中心的な行動をしたり、相手を思いやる気持ちが育っていないため、お互いの言い分がぶつかり合ったりして、言い争うことが多くみられる。

(２)題材のよさ

　思いやりの心をもち、相手に親切にできることは、円満に社会生活を営んでいくうえで、欠かすことのできない要素である。そのためには、幼い頃から思いやりの心を持ち、温かい心で接することができるようにいろいろな経験を日常生活の中で教え、しつけていかなければならない。そこで、帰りの会での友だちの良かったところの発表を振り返ることで、今までに自分が親切にされたときの気持ちに目を向けさせる。次に、「のんたんぶらんこのせて」の語りで、友だちが順番を待っていても、ぶらんこを絶対に譲ろうとしない、自己中心的なノンタンを通して、自己中心的であると、相手に嫌な気持ちにさせることを感じ取らせる。さらに、自己中心的なノンタンに対し、他の動物たちが、愛想をつかせて、遊びの仲間に入れてくれなくなる結末を示し、自己中心的な言動の行く末を子どもたちに知らせる。最後に、これから、友だちに対して、どんな親切ができるかを話し合うことで、友だちに温かい心で接することの大切さを理解させたい。

(３)教師の思い・願い

　誰にでも経験のある、ブランコの順番待ちの場面を用いて、自己中心的な言動をするノンタンに対して嫌な気持ちを共有し、自分たちも休み時間に遊びが白熱してくると、自分の言い分を通そうとしていたことに気づかせたい。お話を通して、相手の気持ちを考えて、ときには、相手に譲ってあげるくらいの気持ちで、友だちと仲良く接することができるよう、子どもたちの心を育てていきたい。

４　題材構想

①　たんていごっこ　(学活)　(１時間)

②　つながりさがし　(学活)　(１時間)

③　大きいトンと小さいポン　(道徳)　(１時間)

④　「聞こえないってどんなこと」　(学活)(１時間)

⑤　あれ、どうしたのかな　(道徳)　(１時間)

⑥　にわのことり　(道徳)　(１時間)

⑦　ノンタンぶらんこのせて　(道徳)　(１時間)(本時)

⑧　賞状を贈ろう　(学活)　(１時間)

５　本時の学習

(１)目標

・友だちの気持ちを考え、仲良く生活しようとする気持ちをもつ。Ｂ－（６）親切、思いやり

(２)資料

　絵本「ノンタンぶらんこのせて」偕成社

(３)準　備　教師：ブランコ、ねこ、うさぎ、くま、ブタのお面

(４)学習過程

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | ・留意点　◇評価　※アクティブラーニング |
| 親切にしてもらって嬉しかったことを発表しよう・友だちが、鉛筆を拾ってくれた。・給食をこぼしたとき、ぞうきんで拭いてくれた。・転んだとき、「大丈夫？」と声をかけてくれた。○「ぶらんこのせて」の話を聞き、話し合う。ネコくんに、ウサギはなんと言ったでしょう・早く代わってほしいなぁ。・ネコくんだけ、ずるいな。・どれだけ待てばいいのかな。クマくん、ブタくん、タヌキくんは、なんと言ったでしょう・ネコくんばっかり、ずるい！ずるい！ずるい！・いったい、いつまで乗るんだ。・早く、ぼくたちに代わってくれ。みんなが、「あそばない」と言ったときのネコくんの気持ちは、どうでしょう。・みんなが、怒っちゃったよ・・・どうしよう。・これから、みんなと遊べなくなるのは嫌だな。・わがまま言っちゃったから・・ごめんねネコくんはどんな気持ちになりましたか・これからは、みんなと仲良くしよう。・ゆずると、気持ちがいいな。・もうわがまま言わないよ。これから、どんな親切ができるか話し合おう | ・帰りの会での嬉しかったことの発表を思い出させる。・意地悪なネコ役の教師に対し、子どもたちに自由に不満を言わせる。・役割演技を取り入れることで、ネコに意地悪を言われるウサギの気持ちをより深く感じ取らせる。※さらに、自己中心的な発言をするネコに対する動物たちの台詞を、考えさせる。・自己中心的であると、相手にいやな気持ちにさせることを、感じ取らせる。・友だちと遊ぶときには、相手の気持ちを考えることが大切であることに気づかせる。・具体的な事例を挙げて、今までの自分の生活を振り返らせる。 |

(５)評　価

・友だちの気持ちを考え、仲良く生活しようとする気持ちをもつことができたか。(振り返り)